

1. 土づくり

・完熟堆肥または緑肥を施用する(できれば前作の前までに施用する)。

完熟堆肥の目安量: 牛糞:1,600kg/10a ・ 豚糞:600kg/10a ・ 鶏糞:400kg/10a ・ 植物質主体:2,000kg/10a

2. 施肥基準 ※施用量は、下記施用量を上限とする。

・化学肥料由来の窒素量は成分で7.5kg/10a以下とする。
 ※この施肥基準に記載されていない肥料は、「JA山武都市ちばエコ人参」には使用できません。

標準①

肥料名	成分	施用量	備考
さんぶ人参 ブリケット	7-7-5	140kg/10a	化学肥料由来 窒素2.2%

※さんぶ人参ブリケットのみの施肥は、240kg/10a以下とする。
 ※追肥を行う場合は、基肥のさんぶ人参ブリケットを170kg/10a以下。
 追肥は、高度化成S842(化学肥料由来窒素18%)を20kg/10a以下とする。

標準②

肥料名	成分	施用量	備考
全有機562	5-6-2	180kg/10a	有機100%

※追肥を行う場合は、追肥分は高度化成S842を40kg/10a以下とする。

【化学肥料由来の窒素量の計算】

人参ブリケットの場合、 $2.2 \div 100 \times \text{施用量(kg/10a)} \leq 7.5$ になればよい。基肥に140kg/10a入れる場合は、 $2.2 \div 100 \times 140 = 3.08$ となり、7.5以下になる。
 追肥を行う場合は、人参ブリケットの場合: $2.2 \div 100 \times 170 = 3.74$ 、高度化成: $0.18 \times 20 = 3.6$ 、 $3.6 + 3.74 = 7.34$ となるため、
 人参ブリケット:170kg/10a、高度化成:20kg/10aが限度。

基準①・②共通

肥料名	成分	施用量	備考
苦土重焼燐	0-35-0	40kg/10a	
苦土石灰 または粒状セルカ	アルカリ分55% アルカリ分47%	どちらか 100kg/10a	pHを上げるには苦土石灰が良い
マルチサポート2号	総合微量元素	60kg/10a	

荒天後の生育回復促進のために、「メリット青(化学肥料由来窒素7.0%)」を使用しても良い(合計2kg/10aまで)。

3. 防除暦

・化学合成農薬の総使用回数は**8成分使用回数以下(使用成分×回数)**とする。
 ※この防除暦に記載されていない農薬は、「JA山武都市ちばエコ人参」には使用できません。

月	旬	作業管理 内容	圃場の 環境	主な病害虫 発生時期	使用農薬	減農薬 対策
6月						
7月	上	○ 播種	高温 乾燥期	ネキリムシ類	DC油剤(テロン)(20L/10a) ネマトリンエース粒剤(20kg/10a) ネマキック粒剤(15kg/10a)	フェロデインSL設置
	中				しみ腐れ病 ユニフォーム粒剤(9~18kg/10a) (2成分)	
下	フォース粒剤(4~12kg/10a) または ダイアジノン粒剤5(6kg/10a)					
8月	上	○ 間引	秋雨期	マメハモグリバエ	ゴーゴーサン乳剤(400mL/10a) または 細粒剤F(5kg/10a) もしくは (2成分) カイタック乳剤(500mL/10a) または 細粒剤F(5kg/10a)	
	中					
9月	上	○ 中耕	秋雨期	マメハモグリバエ	アフーム乳剤(2000倍、前日まで、3回以内) フェニックス顆粒水和剤(2000~4000倍、前日まで、2回以内) コテツフロアブル(2000倍、前日まで、2回以内) ※ヒョウタンゾウムシ(成虫)対策	
	中				ベルコート水和剤(500倍、14日前まで、5回以内)	
10月	上	○ 収穫	秋雨期	マメハモグリバエ	カスミンボルドー(1000倍、14日前まで、2回以内) ロックス(100~150g(70~150L) 30日前まで、但し本葉3~5枚まで)	
	中				ゼンターリ顆粒水和剤(1000倍)	
11~3月					ストロビーフロアブル(2000倍、7日前まで、3回以内)	

備考

化学合成農薬に含まれない農薬(●印)は随時使用できる。
 ●Zボルドー(殺菌剤) →使用回数・収穫前日数とも制限なし。500倍。予防専用。
 ●ポリオキシンAL水和剤(殺菌剤) →使用回数5回まで・収穫7日前まで。500倍。治療効果。
 ●ゼンターリ顆粒水和剤(殺虫剤) →使用回数制限なし・収穫前日まで。1000倍。遅効性で、食べさせないと効かない。
 ※展着剤の使用は、適用農薬・適用作物を確認して使用する。
【病害虫多発時の防除対策】
 ★黒葉枯病が多い年は、ストロビーフロアブル(2000倍・収穫7日前まで)を追加で1回使用する。
 ★マメハモグリバエが多い年は、アフーム乳剤(2000倍・収穫前日まで)を追加で1回使用する。
 ※カイタック(乳剤・細粒剤F)は2成分(ゴーゴーサン+ロックス)なので、注意してください。
 ※ロックスは3~5葉期の間に、1回使用できます(収穫30日前まで)

農薬に頼らない耕種的管理に進んで取り組みましょう！ 農薬の適正使用回数を厳守しましょう！